

第81回実践勉強会 実施レポート

平成29年4月11日 大田文化の森 5階 多目的室

総合司会 中畔 勇一

製品紹介 19時45分～20時

共催会社情報提供：「ルコナック爪外用液5%」 佐藤製薬株式会社

講演 20時～21時15分

演 者： 雑色皮膚科 院長 栗川幸子先生

「皮膚真菌症の治療戦略について」

参加者 115名

質疑応答

水虫などの治療でステロイドを処方されている症例があるが、こういった理由なのか。

→まず炎症を鎮静化することが重要であるため、処方されるケースはある。びらん面などはステロイドなどで炎症を沈めてから抗真菌薬を処方する

爪白癬は非常に長い治療期間であるが、患者の治療意識をあげるためにどのような試みをしているか

→1年以上治療を続ける必要があるため、写真をとり、診療時に見せることで治療意識を高めている。また爪を削るなどをしてあげることで治療満足度などを向上させている。

外用剤の基材で治療効果等は異なるのか。

→基材に含まれる物質の中には接触皮膚炎を引き起こす物質が含まれているため、治療効果に変化を及ぼすと考えられる。